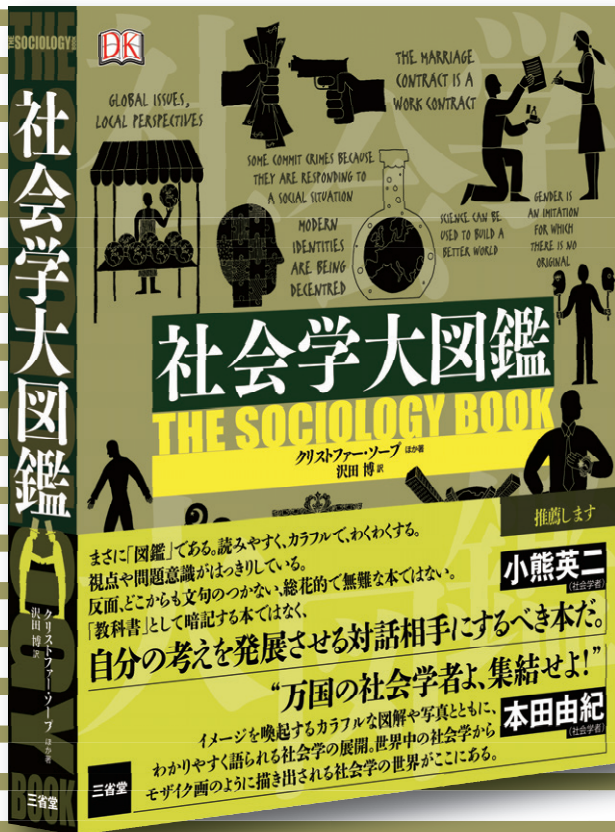


社会の不平等、都市と共同体、グローバル化、
文化とアイデンティティ、消費と労働、制度、家族とセクシュアリティ。

自分たちの生きる社会を見つめ直したい人に贈る オールカラーの図解入り大図鑑



権力あるところに抵抗あり

(ミシェル・フーコー)

(p.52)

オリエントとは、すべての東洋
が閉じ込められた舞台だ

(エドワード・サイード)

(p.80)

私たちは制御不能な世界に
生きている (ウルリッヒ・ベック)

(p.156)

クィア理論はアイデン
ティティを根本から問い直す

(スティーブン・サイドマン)

(p.326)

B5変型判 352ページ 定価(本体4,200円+税)

目次より抜粋

社会学の成り立ち

- 心で破れたら国は滅びる(イブン・ハルドゥーン)
- 合理性という名の檻(マックス・ウェーバー)

この社会が不平等を生み出す

- 私はブルジョアジーを社会的殺人の罪で強く非難する(フリードリッヒ・エンゲルス)
- ユニオンジャックに黒はない(ポール・ギルロイ)

群れから村へ、そして都市のディストピアへ

- 路上には人々の目が必要だ(ジェイン・ジェイコブス)
- ディズニー化でありふれた退屈が劇的な体験に変わる(アラン・ブライマン)

グローバル化した世界に暮らすということ

- すべてが流動化した時代に確固とした全体性などありえない(ジグムント・バウマン)
- 社会によって近代の受容方法は異なる(アルジュン・アパデュライ)

文化と秩序と私たちのアイデンティティ

- 未来の人間はロボットになってしまう(エーリッヒ・フロム)
- あらゆる共同体は想像の産物だ(ベネディクト・アンダーソン)

万国の労働者よ、さっさと消費に励め!

- 機械が洗練されればされるほど労働者の技能は衰えていく(ハリー・プレイバーマン)
- 人がモノを作るのと同様にモノは人を作る(ダニエル・ミラー)

この社会の諸制度は有益なのか有害なのか

- 宗教は抑圧された人々の深い溜め息だ(カール・マルクス)
- 経済危機は直ちに社会の危機に転化する(ユルゲン・ハーバーマス)

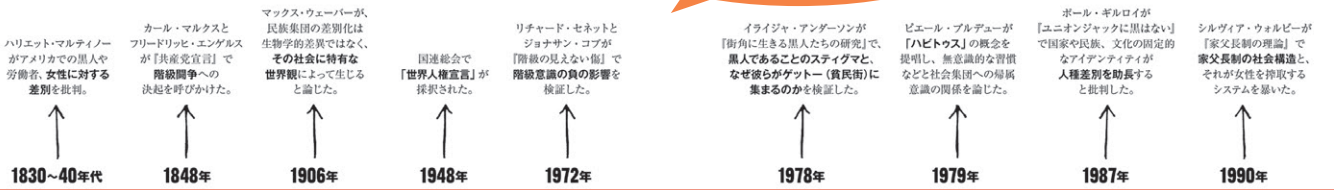
家族とは何か、性的なアイデンティティとは?

- 男と女の違いを生み出すのは文化だ(マーガレット・ミード)
- 家事労働は自己実現につながらない(アン・オークレー)

沢田博 訳

クリストファー・ソープ ほか 著

各章のはじめに、それぞれのテーマごとの大きな流れを年表の形で示します。



啓

啓 衆思想と産業革命の技術革新から生まれた近代は、繁栄だけでなく公正な社会の到来を約束した。...

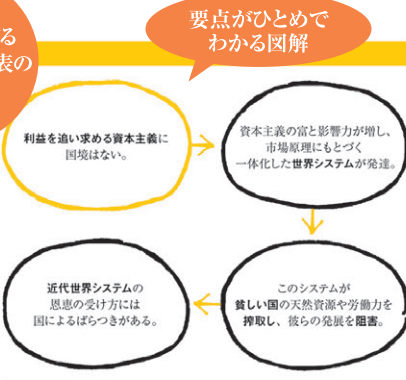
たといえばハリエット・マルティノーは、権利の平等という啓蒙主義の理想と近代社会の現実のギャップを指摘した。...

関連項目へのリンク



近代世界システム イマニュエル・ウォーラーステイン (1930年～)

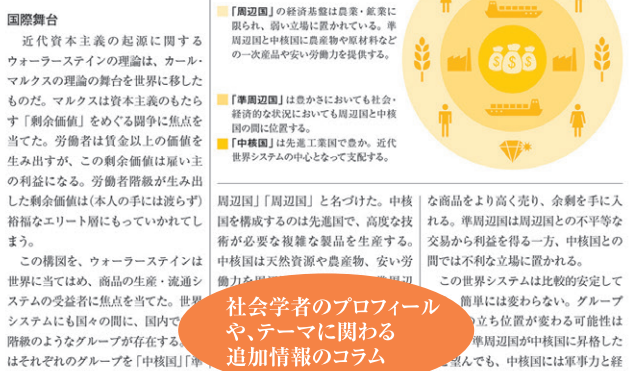
背景知識 テーマ 世界システム論 歴史に学ぶ 16世紀 欧州列強がアメリカ大陸やアジアの一部地域を「発見」し、植民地化したことで、グローバル資本主義の基礎が築かれた。



世界中の国々が相互につながっている世界経済システムでは、先進国が開発途上国の天然資源や労働力を搾取している。

参照 カール・マルクス 28-31 ■ ローランド・ロバートソン 146-47 ■ ...

に再投資された。19世紀後半までには、世界の大半の地域がこの商品生産・交換システムに組み込まれた。



富と不平等のグローバルな構図 かつて社会学者たちは国家間の不平等を論じるときに「第一世界」(先進欧米諸国)、「第二世界」(共産主義工業国)、「第三世界」(旧植民地)という言葉を使っていた。

三省堂 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411(編集)・9412(営業) http://www.sanseido.co.jp/

注文書 section with fields for name, address, phone number, and ISBN information for '社会学大図鑑'.

※必要事項をご記入のうえ、最寄りの書店へお申し込み下さい。お客様の個人情報は本書のご注文のみに利用し、目的外の利用はいたしません。